

「地域密着型金融推進計画」

1. 計画期間

平成17年4月から平成19年3月まで（2年間）

2. 経営理念

私たちは、地域社会の輪の中で、若い人からお年寄りまで多くの人々と信頼の絆を深めながら、「心のみやしん」をモットーに幸せを創り、この街の繁栄を図るため、手をたずさえて努力することを誓います。

3. 具体的施策

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

営業店と取引先とのコミュニケーションを重視し、情報提供・経営相談等の一層の機能強化を図るとともに、財務分析や経営計画立案による支援を実施していきます。審査面においては、格付けと債務者区分を反映した審査に主眼をおき、キャッシュフロー重視の担保や保証人に頼らない審査態勢の確立を目指します。

また、創業・新事業支援は金融機関としての重要業務であると捉え、積極的に地域企業との交流機会を設けるほか、政府系金融機関や信金キャピタル等との情報交換を実施し連携を図っていきます。

顧客に対する説明は、円滑な融資取引の基本であるとの認識に立ち、重要事項説明の重要性を徹底させるとともに、顧客とリスク認識を共有化し相談体制、融資に関わる苦情処理体制、説明責任体制について相互の理解向上を図っていきます。

(2) 経営力の強化

各種データの統合による信用リスクを考慮し必要なりスクに見合った金利設定を行う体制整備を図り収益の向上に努めるとともに、適切な自己査定及び償却・引当の確保のため、ALMに基づいたリスク管理を実施し、バーゼル の内容等習得による精緻な自己資本比率の算出に努めます。

個人情報的重要性を認識した個人情報保護法及び金融庁のガイドラインに基づいた対応と法令遵守の徹底を図るためコンプライアンス休暇等を活用し業務のチェックを確実に実施し不祥事件等の発生の未然防止に努めます。

また、ガバナンスの強化として半期開示の充実を図るとともに、会員からの意見を取り入れるため総代会の機能強化を図り、意見を反映する経営に努めていく方針であります。

平成19年3月末は、自己資本比率8%台、不良債権比率8%台を目標に推進してまいります。

( 3 ) 地域の利用者の利便性向上

総代、外郭団体の会員等地域の利用者からの意見及び利用者満足度アンケート調査等を実施し、利用者の満足度を重視した金庫経営に努めます。

また、ギャラリーの常設による営業店を拠点とした芸術・文化の発信及び向上のためテーマを決め対応し地元のファンを作り、顧客の安心感を醸成する努力をしております。